（参考）2020年度上期　トピックス

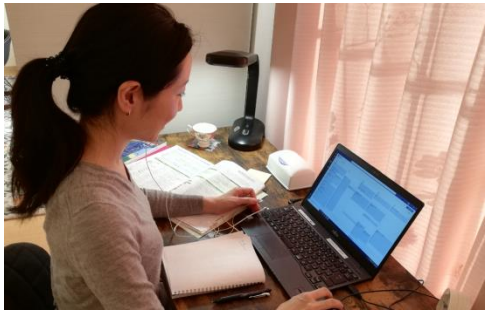
・新型コロナウィルスへの対応：供給の維持/従業員の働き方と心と身体の健康
・リリース情報など

新型コロナウィルスへの対応：供給の維持/従業員の働き方と心と身体の健康

・不二製油グループは世界13ヶ国39社の連結子会社を保有
・グループ本社・地域統括会社・各グループ会社に緊急対策本部を設置し、タイムリーな状況把握と対策を支援・共有を継続

生産活動・供給の維持

・各社における感染予防対策の徹底（マスク着用、手洗い、テレワーク、構内におけるソーシャルディスタンス確保、移動などに対する制限方針徹底など）
・感染者発生時には即時対応（感染者の隔離、従業員家族含め濃厚接触者の把握と自宅待機、工場内の消毒など）、柔軟な生産計画・勤務対応
・現地政府による一時的な生産停止などへも適時許認可取得し安定稼動継続



働き方の変容

・各グループ会社とも雇用を維持（正規社員 / 臨時雇用）
・各国 感染拡大の情況に合わせ臨機応変に在宅勤務を実施継続

・不二製油㈱では、テレワーク新制度を導入
従来制度の対象者、制度使用事由、コアタイムの制限をなくし、柔軟な働き方を推進

従業員の心と身体の健康の維持

・2020年11月初旬現在、アメリカ、ブラジルを中心に90名を超えるグループ社員が罹患、
（内訳：ブラマー 32名 、ハラルド 55人、フジベジタブルオイル 6人、その他）

※ブラマー、ハラルド両社の対応状況は次ページ参照

新型コロナウィルスへの対応：ブラマー・ハラルドにおける主な対応

ブラマー

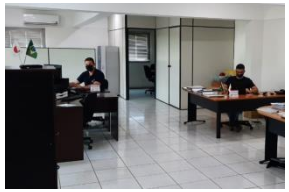
■労働衛生

・出社時の問診、同居人健康状態確認
・工場内にカメラを設置、陽性反応者発生時の濃厚接触者の同時隔離
・物理的なソーシャルディスタンス確保
・食堂、会議室等の定員厳守
・予備知識向上のためのポスターや社内SNS活用
・出勤率50%以下へのコントロール
・各部屋への空気清浄機導入

■コミュニケーションなど

・トップから従業員へのメッセージ
・毎月の全従業員向けWEBミーティング全社状況の説明、Q&Aセッションによる不安解消
・感染者発生時には「ブラマーアナウンス」というニュースレターを全従業員に配布正確な情報を共有

ハラルド



■労働衛生

・検温強化、産業医による確認
・従業員へのマスク配布
・在宅勤務（オフィス椅子貸与）
・手洗い方法のレクチャー
・工場の高頻度での消毒
・構内ソーシャルディスタンス徹底
・バスや食堂のプロセス変更
・従業員と家族へ保険適用によるコロナテスト
・希望者へのイベルメクチン配布

■コミュニケーションなど

・トップから従業員へのメッセージ
・対応マニュアル配布
・タイムリーな社内開示
・メンタルカウンセリング強化
・専門家の電話相談窓口の設置による従業員と家族のサポート
・社員向けWEBセミナー

2020年度上期 トピックス一覧

不二製油グループ本社HP ニュースリリース
https://www.fujioilholdings.com/news/2020/index.html

P8	2020.5.7	温室効果ガス削減目標に関して「SBT イニシアチブ」の認証を取得
	2020.5.12	連結子会社の異動（トーラク株式会社の発行済株式の全てを譲渡）
P8	2020.5.19	役員に対する業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ
P5	2020.6.4	児童労働撲滅、森林破壊防止に向け、サステナブル調達コミットメントを策定
	2020.6.18	第92回定時株主総会
P9	2020.6.23	「第5回 日本ベジタリアンアワード」で大賞を受賞
P7	2020.6.30	責任あるパーム油調達に関する取組み状況について
	2020.7.3	「サステナビリティレポート2020（日本語版）」公開
	2020.8.20	非連結子会社（3F FUJI FOODS PRIVATE LIMITED）の異動（持分譲渡）
P9	2020.9.9	ジャパンタイムズ Satoyama & ESG アワード2020のESGの部において大賞を受賞
P9	2020.9.11	UPGRADE Plant based kitchenあふの環サステナウィーク参画
	2020.9.11	「サステナビリティレポート2020（英語版）」公開
	2020.9.17	「統合報告書2020」（日本語版・英語版）発行
P10	2020.9.30	『Food Tech Studio – Bites!』参画に関するお知らせ
P10	2020.10.1	継続的なDHA 297 mgの摂取が加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認
	2020.10.9	創立70周年

児童労働撲滅、森林破壊防止に向け、サステナブル調達コミットメントを策定

＜カカオ豆＞課題解決のためのKPI

＜関連情報＞
統合報告書2020
P53 サステナブル調達

① 児童労働

不二製油グループのカカオ豆・カカオ製品のサプライチェーン上における児童労働を2030年までに撲滅するため、2025年までに国際労働機関（ILO）の定める「最悪の形態の児童労働」（WFCL: Worst Forms of Child Labor）をゼロにします。

② 森林再生

カカオ栽培地域に対して2030年までに生物多様性に配慮した100万本の植樹を行います。

＜パーム油＞課題解決のためのKPI

① パーム農園までのトレーサビリティ（TTP: Traceability to Plantation）を2030年までに100%とします。（現状52%）

② 主要子会社Palmaju Edible Oil（マレーシア）の全サプライヤーへ労働環境改善プログラム（LTP：Labor Transformation Program）を適用し、2025年までに完了します。

中長期目標		現状：参考情報	2025	2030	最終目標
カカオ	児童労働撤廃	（CLMRS*1 ブラマー社　直接調達 97%）	WFCL*2 ゼロ	児童労働ゼロ	児童労働撲滅、森林破壊撲滅
	森林再生	（プログラム豆累計植樹13万本）	植樹50万本	植樹100万本	
パーム	森林破壊防止	（TTP*3 52%）	TTP 75%	TTP 100%	NDPE*4
	搾取防止	労働環境改善10%（主要子会社）	労働環境改善100%（主要子会社）	労働環境改善100%（全直接サプライヤー）	

*1:CLMRS: Child Labor Monitoring and Remediation System（児童労働のモニタリングと改善策実施）2025年の当社グループ目標はWFCLゼロとしています。
*2:WFCL: Worst Forms of Child Labor (最悪の形態の児童労働) *3:TTP: Traceable to Plantation （農園までのトレーサビリティ）、供給農園の特定と森林破壊のモニタリング
*4:NDPE: No Deforestation, No Peatland and No Exploitation（森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ）

中期コミットメントの実効性向上へ：グローバルサステナブル調達委員会(9月発足)

・各主原料ごとに分科会を設け、ロードマップに沿った施策を推進

・グローバルサステナブル調達委員会は3ヶ月毎に進捗会議を実施
　およびC"ESG"Oへ報告を実施

11月進捗会議風景

委員長
油脂・チョコレート
事業部門長
科野 裕史

Global Sustainable Sourcing Committee

C"ESG"O・CSRチーム

Cacao

Head
Blommer
NA
Senior Director,
Corporate Sustainability

Team Member

E E A A SA HD J

・中期コミットメントのKPI達成のためのロードマップ作成・実施

Palm Oil

Head
Holdings
HD
Supply Chain Management

Team Member

E A A A NA HD HD J

・中期コミットメントのKPI達成のためのロードマップ作成・実施

Shea

Head
FUJI EROPE AFRICA
E
Director of Sustainability &
Supply Chain Management

Team Member

E E E E A HD

・調達上の社会課題の把握とKPIの設定

Soybean

Head
Holdings
HD
Supply Chain Management

Team Member

E C C C SA HD J

・RTRS参加と情報収集
・調達上の社会課題の把握とKPIの設定

・主原料ごとのGlobal Sustainability Teamには、各エリアの担当者が直接参画
（※凡例：E＝「Europe Africa」、A＝「Asia」、C＝「China」、SA/NA＝「South/North America」、HD/J＝「Holdings/Japan」）

責任あるパーム油取り組み状況について

＜関連情報＞
責任あるパーム油調達に関する取り組み状況半期レポート

・当社は、「責任あるパーム油調達方針」にそったグループの取り組みの進捗について半年ごとにHPで開示
・6月30日、2019年6月以降の進捗状況について、進捗のあった下記の項目についてご説明

（詳細は右記HPリリースご参照）

項目	進捗概要
①トレーサビリティ	・2019年12月末時点 TTM（搾油工場までのトレーサビリティ）100%達成 ・新たに 2030年までにTTP（農園までのトレーサビリティ）100%という目標を公表
②グリーバンス（苦情処理）メカニズム	・2020年4月、より効果的にグリーバンス(苦情)に対して対応するためにグリーバンスプロジージャー（苦情処理手順書）を見直し ・2020年6月30日 グリーバンスリスト更新（四半期毎更新）
③パルマジュ社のサプライチェーン改善活動「変革のための自己評価ツール」を使用したサプライチェーン改善	・“搾取ゼロ”コミットメントの推進のためのエンゲージメント 労働環境改善プログラム（Labor Transformation Program： LTP）の開始を決定 ・森林破壊ゼロ”コミットメント推進のための個別エンゲージメント サステナビリティに関するパートナーや他の業界関係者と協力して、マレーシアでの森林破壊ゼロ変革戦略を策定
④APT (優先的地域変革) ランドスケープイニシアチブ（インドネシア スマトラ）	・優先的な改善エリアのためのイニシアチブ（Areal Prioritas Transformasi ：APTiv）に2018年より参画 ・2019年度下期には、対象地域における政府の最初の正式な支援の確保、プログラムに関与する地域コミュニティからの熱意の高まり、対象地域の森林破壊の減少傾向の確認などを成果として確認
⑤今後の展開	・TTPを管理するためのガバナンス開発に重点 ・“搾取ゼロ”“森林破壊ゼロ”の実施のための、主要サプライヤーとの1対1のエンゲージメント追加 ・「変革のための自己評価ツール」プラットフォームの活用と取り組みの拡大 ・エンゲージメントとフォローアップ活動のための社内能力強化 ・グリーバンスの継続対応

・最新の進捗（2020年1月~6月）については、12月に弊社HPリリースにて開示予定

「SBT イニシアチブ」の認証を取得

＜関連情報＞
サステナビリティレポート2020
Environment（環境）

・パリ協定による気温上昇の抑制温度が変更された（2℃目標→1.5℃目標）
・変更後の目標値に対して当社が設定した国内外の不二製油グループの温室効果ガス中期削減目標が国際的なイニシアチブである「Science Based Targetsイニシアチブ」により承認

・SBTiの認定を元に、「環境ビジョン2030」を見直し。
はじめてScope3のデータを集計しサプライチェーン全体におけるGHG排出量を把握。

項目	（旧）環境ビジョン2030	（見直し後）環境ビジョン2030
CO_2排出量の削減（グループ全体）	24%削減	**スコープ1&2※総量40%削減、スコープ3（カテゴリ１）18%削減**
水使用量の削減　（グループ全体）	原単位で20%削減	原単位で20%削減
廃棄物量の削減　（グループ全体）	原単位で20%削減	原単位で20%削減
資源リサイクル　（国内グループ会社）	再資源化率99.8%以上を維持	再資源化率99.8%以上を維持

業績連動型株式報酬制度の導入

＜関連情報＞
統合報告書2020
コーポレートガバナンス

・当社グループの企業価値の持続的な向上とステークホルダーの価値の促進、
経営監督や業務執行に係る取締役の職務の適切な発揮を目指して役員報酬制度を見直し
・業績連動型株式報酬制度を導入（詳細は右記 統合報告書をご参照ください）

・＜狙い＞
取締役の報酬と不二製油グループの業績および株式価値との連動性をより明確化
取締役が株価変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識向上

「第5回 日本ベジタリアンアワード」で大賞を受賞

・日本最大のNPO法人日本ベジタリアン協会と、日本学術会議協力学術研究団体の日本ベジタリアン学会の2団体により制定
・74件のノミネートを対象に選考の結果、当社が大賞に選定
・受賞理由は、事業を通じ環境問題や社会課題に対し長年培ってきた植物性素材を活用した製品で貢献し、30年にわたりベジタリアン市民団体の支援を行ってきたことなどが評価された

ジャパンタイムズ Satoyama & ESG アワード2020のESGの部において大賞を受賞

・ESG、Satoyama活動に取り組む企業・団体・個人にフォーカスし、成功事例を広く国内外に紹介することで社会に貢献すること、同時にアワードを通じて、コンソーシアムの活動への認知を高め、様々な分野で企業、団体、自治体、個人との連携を図る機会を創出することを目的

the japan times
SATOYAMA & ESG AWARDS
2020

・受賞理由は、植物性の食品素材によって社会課題解決を追求していく理念のもとESG経営の強化に取り組んでいること。（C”ESG”Oの設置、パーム油の調達で日本唯一のCDPフォレストAリスト入り、カカオ豆調達における児童労働撤廃のコミットメント等）

「あふの環2030プロジェクト～食と農林水産業のサステナビリティを考える～」参画

・SDGs の2030 年までの達成を目指し、持続可能な生産と消費を広めるための活動を推進する農林水産省、消費者庁、環境省の連携プロジェクト
・活動の一環である「サステナウィーク(9月17日～9月27日)」にUPGRADE Plant based kitchen（大丸心斎橋店に当社が出店している飲食店）が参画

あふの環2030

継続的なDHA 297 mgの摂取が加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認

・国立大学法人島根大学・不二製油グループ本社株式会社、不二製油株式会社は、Journal of Functional Foodsに以下の内容を論文掲載した。
・不二製油株式会社が開発した酸化劣化しにくい安定化DHA油脂(プロレア®)を乳飲料に使用し、乳化物の形態でDHAを摂取することで、従来よりも低含量、具体的には1日あたり297 mgのDHAで加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認した

『Food Tech Studio – Bites!』参画

・日本の食品メーカー６社と世界中のスタートアップと共に、産業や技術の視点に加え、生活者目線で価値の高いサービス及びアプリケーションを共創し、「食」を通じた持続可能な社会を実現する「新 ”食” 産業」を創出するグローバル・オープンイノベーション・プログラム

プログラム概要

・主催　　：スクラムベンチャーズ
・パートナー企業　：株式会社伊藤園、大塚ホールディングス株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、株式会社ニチレイ、株式会社ユーハイム、不二製油グループ本社株式会社
・戦略パートナー　：株式会社博報堂、東京建物株式会社、株式会社シグマクシス、辻調理師専門学校

・公式ウェブサイト：https://www.foodtech.studio/
・開催期間　　：2020年9月から2021年3月迄を予定

不二製油グループ本社株式会社